



平成24年7月30日

各 位

会 社 名 森 下 仁 丹 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 駒 村 純 一
(コード番号4524 東証、大証各第2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 武 貞 文 隆
電 話 番 号 06-6761-1131(代表)

シロアリ駆除カプセル共同開発プロジェクトが経済産業省の補助事業に採択
～平成24年度地域イノベーション創出実証研究補助事業（早期事業化支援枠）～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、国立大学法人京都大学大学院農学研究科の松浦健二教授らの研究グループと共に、独自のシームレスカプセル技術を応用したシロアリ駆除剤の開発を推進しております。この度、「シロアリの卵運搬本能を利用した擬似卵型駆除剤の実用化開発」が、経済産業省から早期の事業化支援として、平成24年度地域イノベーション創出実証研究補助事業に採択されましたのでお知らせします。

シロアリは、木材を摂食するため家屋の構造物を蝕み、特に地震の際の木造住宅での被害は深刻で、日本のみならず世界的な環境問題にまで発展しており、駆除の市場規模は日本国内で150億円、全世界で1,000億円以上といわれています。

一般にシロアリの駆除は薬剤を散布する方法で実施されますが、木材の中に潜んでいるシロアリまで完全に駆除することは難しく、駆除剤の大量散布による環境への影響や健康被害が懸念されています。当社と松浦教授らとの共同プロジェクトは、アリの卵を働きアリが育室に持ち帰り、舐めて世話をするシロアリの習性に着目し、駆除剤入りの擬似卵を用いることでシロアリの最も効率的に巣の内部から巣全体を駆除するオリジナル方法の確立を目指しています。

当社はシームレスカプセル技術応用の一環として、シロアリ駆除剤の共同開発に取り組み、平成21年度「イノベーション創出基礎的研究推進事業」の課題テーマ研究開発を行ってきた結果、卵認識フェロモンと駆除剤成分を併用して効率よくシロアリの駆除する方法を開発し、その成果について特許出願も実施致しました。

今回、採択されたプロジェクトでは、さらに実証レベルでの開発に取り組み、シロアリ駆除カプセルの性能確認と製品開発を進め、早期実用化を目指して参ります。

なお、中長期的な業績への貢献が期待されますが、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

事業名：平成24年度地域イノベーション創出実証研究補助事業（早期事業化支援枠）
課題名：「シロアリの卵運搬本能を利用した擬似卵型駆除剤の実用化開発」
事業者：森下仁丹株式会社、国立大学法人京都大学ほか